

みずほCustomer Desk Report 2016/08/03 号(As of 2016/08/02)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	102.38 AUD/USD
TKY 9:00AM	102.33	1.1167	114.29	0.9678	1.3186	0.7527
SYD-NY High	102.83	1.1234	114.80	0.9709	1.3365	0.7638
SYD-NY Low	100.68	1.1160	113.05	0.9634	1.3172	0.7486
NY 5:00 PM	100.90	1.1225	113.26	0.9642	1.3355	0.7607
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.145/12.655		△25RR	1.578	Yen Call Over	
NY DOW	18,313.77	▲ 90.74	債券市場	日本2年債	-0.1700	6.3bp
NASDAQ	5,137.73	▲ 46.46		日本10年債	-0.0750	6.0bp
S&P	2,157.03	▲ 13.81		米国2年債	0.6788	▲0.6bp
日経平均	16,391.45	▲ 244.32		米国5年債	1.0895	1.4bp
TOPIX	1,300.20	▲ 21.63		米国10年債	1.5558	3.4bp
シカゴ日経先物	16,125	▲355.00		独10年債	-0.0360	6.2bp
ロンドンFT	6,645.40	▲48.55		英10年債	0.8080	7.8bp
DAX	10,144.34	▲186.18		豪10年債	1.8190	▲5.4bp
ハンセン指数	-	-		USD/CNH	6.6327	▲ 0.0133
上海総合	2,971.28	17.89		ドルインデックス	95.06	▲0.65
USDJPY 3M Vol	12.76	1.09%	商品市況	CRB指数	177.317	▲0.90
USDJPY 6M Vol	12.20	0.96%		NY金	1,372.600	13.00
EURJPY 3M Vol	12.62	0.76%		WTI	39.510	▲0.55
EURJPY 6M Vol	12.29	0.66%		Dubai Spot	39.34	▲0.17

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月2日	10:30	豪 貿易収支	6月 -3,195M	-2,000M
	10:30	豪 住宅建設許可件数(前月比/前年比)	6月 -2.9%/ -5.9%	0.8%/ -2.4%
	13:30	豪 RBAキャシュレート	-	1.50%
	19:15	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	21:30	米 個人所得/個人支出	6月 0.2%/0.4%	0.3%/0.3%
	21:30	米 PCEコアデフレータ(前月比/前年比)	6月 0.1%/1.6%	0.1%/1.6%

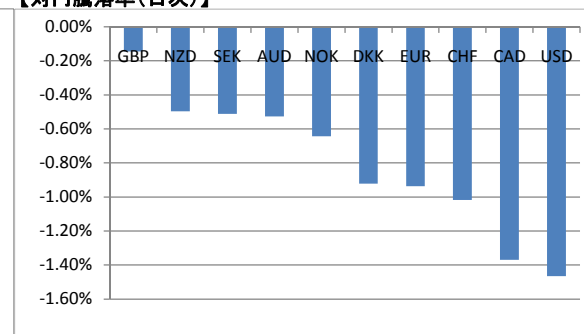
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月3日	8:50	日 日銀金融政策決定会合議事要旨公表	-	-
	10:45	中 財新・中国サービス業PMI/コンポジットPMI	7月 -/-	52.7/50.3
	16:55	独 マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	7月 54.6/55.3	54.6/55.3
	17:00	欧 マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	7月 52.7/52.9	52.7/52.9
	17:30	英 マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	7月 47.4/47.7	47.4/47.7
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	6月 0.0%/1.8%	0.4%/1.6%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請件数	-	-11.2%
	21:15	米 ADP雇用統計	7月 170K	172K
	22:45	米 マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	7月 51.0/-	50.9/51.5
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	7月 55.9	56.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のドル円は102.33レベルでオープン。麻生財務相の「足下の為替相場についてコメントすることはない」、「為替の振幅が激しいことは経済に良くない」との発言が伝わると、直後の相場の反応は限定的となったが、その後急速に円売りが強まり102.83まで上昇。102円台半ばを中心としたもみ合い推移が続く中、「麻生財務相、黒田日銀総裁と今午会談へ」とのヘッドラインが伝わったが、ドル円相場の反応は限定的となった。その後、日経平均株価が下げ幅を拡大する動きに、ドル円も102.01まで連れ安となったが節目となる102円ちょうどを目前に下げ止まり、102.22レベルで海外へ渡った。豪ドルは豪準備銀行(RBA)理事会の追加緩和決定を受けて荒い値動きとなった。対ドルで東京時間0.7527レベルでオープンした後は、0.75台前半での動意に乏しい展開が続いたが、RBA理事会において市場予想通りオフィシャルキャシュレートの引下げ(1.75%→1.50%)が決定されると一時0.7486まで下落。しかし、市場予想通りの緩和内容であったこともあり、ショートカー等から直ぐに反発に転じると追加緩和発表前の水準まで戻し、結局0.7542レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、102.22レベルでオープン。日本政府は、事業規模が28.1兆円となる経済対策を閣議決定したが、概ね事前に報じられていた通りの内容であり、材料出尽くし感等から101.45まで下落。その後は麻生財務相と黒田総裁の会談後の記者会見で、日本政府が40年債の増額を検討していることや、政府日銀間の連携強化が確認されるとドル円は下げ渋り、101.68レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3186レベルでオープン。英7月建設業購買担当者景気指数(PMI)が、45.9と、2009年6月以来7年ぶりとなる低水準に落ち込んだものの、市場予想の43.8は上回ったことからポンドが買われ、1.3255まで上昇。しかし、その後は伸び悩み、1.3244レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円相場は101.68レベルでオープン。本邦経済対策への材料出尽くし感や失望感から、海外市場からドル円は下落する展開となった。朝方に発表された米7月PCEコアデフレータは予想と一致したもののFRBターゲットからは遠く、利上げ観測の後退を意図させ、ドル円は100円台をうかがう展開となった。その後は、タリム軟調となり、ドル円は101円ちょうど付近で一旦は売りが交錯したものの、100円台に突入すると一時100.68まで下落した。その後も上値の重い推移が続き100.90レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1194レベルでNYオープン。朝方発表された米7月PCEコアデフレータを受けてドル売りが強まり、その流れを受けてユーロドルの買い戻しが加速した。米利上げ期待の後退を背景にしたドル売りにユーロドルは一時1.1234まで上昇した。ただし、1.1230を超えてくる水準では相応の売り意欲も見られ、1.1220まで軟化した後、1.1225レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高田・森谷

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.20—101.80	1.1200—1.1350	112.50—114.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は軟調推移。予想範囲内の本邦経済対策への材料出尽くし感やFRBターゲット比で弱い米PCEコアデフレータを受けて一時100.68円まで下落した。本日の東京時間のドル円は週末に米雇用統計を控える中、特段重要イベントもなく株価の上下に連れる展開か。ただし足許、米利上げ期待が後退しておりネガティブ材料に対して下げ易い状況には留意したい。